

COVID-19治療薬候補

2020年5月29日

【取扱上の注意】

インターネットや業界誌等で確認した内容を抜粋し整理したものです。
最新の情報はそれぞれご確認ください。

【資料について】

現在世界中で蔓延している新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、SARS-CoV-2による疾患である。2019年12月に中国武漢の症例が報告されて以降、流行は拡大を続け、検査体制や有効な治療薬の開発が強く望まれていた。日本においてもCOVID-19治療薬への期待が高まる中、インターネットや業界誌などの様々な媒体で、多くの情報が提供されるようになった。しかしこうした情報に対しては事実確認が重要である。また、学術文献についても、査読を受けたか、因果関係を検討しているデザインであるか、規模はどうか、といった内容を確認したうえで解釈することが求められる。そのため、学術論文に加えて、関連する国内外の企業や研究機関から公表された情報まで遡り調査し、会内資料として整理した。なお、本業務は、新しい情報を入手した際に詳細を確認するというもので、特段の検索語の設定や抽出条件を定めているものではなく、世界中の情報を網羅するものではない。

公益社団法人 日本医師会
地域医療課薬務対策室

企業	品目名 (一般名)	薬効 分類	効能/ 効果	作用機序	臨床試験													備考	
					実施者	実施国	種類	相	施設数	無作為化	盲検	対象患者	症例数	割付	主要評価項目	試験期間	DB URL		結果
富士 ファイ ルム 富山 化学	アビガン (ファビピ ラビル)	抗イ ンフ ルエ ンザ ウイ ルス 剤	新型又 は再興 型イン フルエ ンザウ イルス 感染症 (ただ し、他 の抗イ ンフル エンザ ウイル ス薬が 無効又 は効果 不十分 なもの に限 る。)	○細胞内でリボシル三リン酸体（ファビピ ラビルRTP）に代謝され、ファビピラビル RTPがインフルエンザウイルスの複製に関 与するRNAポリメラーゼを選択的に阻害 ○ヒト由来DNAポリメラーゼα、β及び γに対して、ファビピラビルRTP（1000 μmol/L）は、αへの阻害作用は示さず、 βに対して9.1～13.5%、γに対して11.7 ～41.2%の阻害作用	富士ファイ ルム富山 化学	日本	企業 治験	III	不明	○	単	非重篤な肺 炎を合併し たCOVID- 19患者	96	①ファビピラビル+ 標準治療 ②標準治療	体温、SpO2、胸部画像 所見の軽快及びSARS- CoV-2が陰性化するまで の時間	2020年3月 31日～ 2020年6月 30日	https://www.clinicaltrials.jp/cti-user/trial/ShowDirect.jsp?clinicalTrialId=30264		
				○ファビピラビルRTPのヒト由来RNAポリ メラーゼIIに対する阻害作用（IC ₅₀ 値） は、905μmol/L ○インフルエンザウイルスと同種のRNAウ イルスであるCOVID-19に対しても効果が 期待 ○in vitro・動物モデルの検討では、in vitroでCOVID-19のEC ₅₀ は61.88μMで ありエボラウイルスに対する数値に類似	富士ファイ ルム富山 化学	米国	企業 治験	II	3	○	非	COVID-19 を有する入 院対象者	50	①ファビピラビル+ 標準治療 ②標準治療	29日目までに鼻咽頭お よび中咽頭サンプリン グで測定されたCOVID- 19が陰性化するまでの 時間	2020年4月 17日～ 2020年12 月	https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT04358549?term=favipiravir&draw=2&rank=3		
					藤田医科 大学病院	日本	特定 臨床 研究	II	47	○	非	RT-PCRに よって SARS- CoV2ウイ ルスの感染 が確認され た無症状又 は軽症患者	86	①ファビピラビル 群 ②ファビピラビル 投与開始遅延群	6日目における鼻咽頭ぬ ぐい液におけるSARS- CoV2ウイルス消失率	2020年3月 2日～2020 年08月31 日	https://jrct.niph.go.jp/latetest-detail/jRCTs041190120		
					藤田医科 大学病院	日本	観察 研究	—	407	—	—	軽症～重症 COVID-19 患者	2185	ファビピラビル ※他の抗ウイルス 作用のある薬剤併 用例有（シクレソ ニド、ロピナ ビル・リトナビル など）			○中間報告を 発表 ○投与開始7日 目（1713例） で改善した患 者の割合は、 軽症73.8%、 中等症 66.6%、重症 40.1%。14日 目（1282例） で改善したの は、軽症 87.8%、中等 症84.5%、重 症60.3%	http://www.kansensho.or.jp/uploads/files/topics/2019ncov/covid19_favip0526.pdf	

企業	品目名 (一般名)	薬効 分類	効能/ 効果	作用機序	臨床試験													備考		
					実施者	実施国	種類	相	施設数	無作為化	盲検	対象患者	症例数	割付	主要評価項目	試験期間	DB URL		結果	結果URL
					群馬大学 医学部附 属病院	日本	特定 臨床 研究	II	5	×	非	新型コロナ ウイルス感 染症と診断 された入院 患者	50	ファビピラビル	投与開始日の血清CRP 値に対する投与開始10 日目の血清CRP値の低 下率の期待値と95%信 頼区間	2020年2月 27日～ 2022年04 月30日	https://jrct.niph.go.jp/atest-detail/jRCTs031190226			
					東京大学 医学部附 属病院	日本	特定 臨床 研究	III	6	○	単	肺炎を有す るCOVID- 19患者	160	①標準治療+ファビ ピラビル+ナファモ スタットメシル酸 塩 ②標準治療+ファビ ピラビル	体温、動脈血酸素飽和 度 (SpO2)、胸部画像所 見の軽快及びSARS- CoV-2が陰性化するまで の時間	2020年5月 1日～2021 年12月31 日	https://jrct.niph.go.jp/atest-detail/jRCTs031200026			
					The Third People's Hospital of Shenzhen	中国	臨床 試験		1	×	非	肺炎を有す るCOVID- 19患者	80	①α-インターフェ ロン ②ロピナビル/リト ナビル+α-イン ターフェロン ③ファビピラビル+ α-インターフェ ロン	ウイルス除去の時間と 治療後14日目の胸部CT スキャンの改善率	2020年1月 30日～ 2020年4月 29日	http://www.chictr.org.cn/showproject.aspx?proj=49042	カレトラ群45 人と比較して ファビピラビ ル投与群35人 ではウイルス 消失時間が短 縮され、画像 所見の改善も 早かったと報 告	https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S2095809920300631?via=ihub	
ChemRar	Avifavir (ファビピ ラビル)	同上	同上	同上	RFID/C hemRar	ロシア	企業 治験		3	○	非	中等度 COVID-19 患者	60	①ファビピラビル ②標準治療		実施済		ウイルス陰性 化までの期間 の中央値が ファビピラビ ル群で4日間、 標準治療群で9 日間	https://rdif.ru/Eng_full/News/5201/	アビガン後発 品
					RFID/C hemRar	ロシア	企業 治験		30	○	非	COVID-19 で入院した 患者	330			実施中				
Glenmark Pharma	FabiFlu (ファビピ ラビル)	同上	同上	同上	Glenmar k Pharma	インド	企業 治験	III	10	○		軽症・中等 度COVID- 19患者	150	①ファビピラビル+ 標準治療 ②標準治療		2020年 7、8月終 了予定				アビガン後発 品

企業	品目名 (一般名)	薬効 分類	効能/ 効果	作用機序	臨床試験													備考			
					実施者	実施国	種類	相	施設数	無作為化	盲検	対象患者	症例数	割付	主要評価項目	試験期間	DB URL		結果	結果URL	
ギリ ア ド・ サイ エン シズ	ベクルリー (レムデシ ビル)	抗ウ イル ス剤	SARS- CoV-2 による 感染症	○アデノシンヌクレオシドのプロドラッグ であり、加水分解等による代謝を経て、ヌ クレオシド類似体のーリン酸体となった 後、細胞内に分布し、代謝されてヌクレオ シド三リン酸型の活性代謝物を生成 ○活性代謝物はアデノシン三リン酸 (ATP) の類似体として、SARS-CoV-2 RNA依存性RNAポリメラーゼによって新 たに合成されるRNA鎖に天然基質ATPと競 合して取り込まれ、ウイルスの複製におけ るRNA鎖の伸長反応を取り込みから少し遅 れて停止 ○活性代謝物は、ヒト由来のDNAポリメ ラーゼα、β及びRNAポリメラーゼII、並 びにミトコンドリアDNAポリメラーゼγ 及びミトコンドリアRNAポリメラーゼに対 する阻害作用 (IC ₅₀ 値) はいずれも> 200 μM ○SARS-CoV-2の臨床分離株に対して、薬 剤添加48時間後におけるヒト初代培養気 道上皮細胞での50%有効濃度 (EC ₅₀) は 9.9 nMで、Vero細胞でのEC ₅₀ は、薬剤添 加24時間後及び48時間後でそれぞれ137 nM及び750 nM	ギリア ド・サイ エンシズ	米国、日 本、イタリ ア、オース トリア、フ ランス、ド イツ、オラ ンダ、スペ イン、カナ ダ	コ ホー ト研 究	—		×	非	コンパッ ショネート ユースで投 与された入 院中で重度 合併症を呈 する COVID-19 患者	61	レムデシビル			2020年1月 25日～ 2020年3月 30日		○分析結果を NEJMに掲載 ○53人の患者 のうち36人 (68%) で臨 床的改善	https://www.neim.org/doi/full/10.1056/NEJMoa2007016?query=featured_home	○元々、エボ ラ出血熱治療 薬として第II 相試験段階 ○米国で緊急 使用許可 ○特例承認済 ○WHOが国際 連帯試験実施 中
				ギリア ド・サイ エンシズ	米国、中 国、フラン ス、ドイ ツ、香港、 イタリア、 日本、韓 国、オラン ダ、シンガ ポール、ス 페인、ス ウェーデ ン、台湾、 イギリス	企業 治験	III	183	○	非	重度 COVID-19 患者	6000	①レムデシビル5日 投与群 ②レムデシビル10 日投与群	Day 14に7点の順序尺度 によって評価した臨床 状態	2020年3月 6日～2020 年5月	https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT04292899?term=remdesivir&rank=2&rank=5	○397例の結果 公表 ○投与14日目 の7段階スケ ールの2段階以上 の改善は5日間 投与群 129/200 (65%)、10日 間投与群 107/197 (54%)、 p=0.16	https://www.gilead.com/jp/-/media/japan/pdfs/press-releases/04-30-2020_2/simple-severe_study.pdf?la=ja-441F5CDE78D4877319			
				ギリア ド・サイ エンシズ	米国、中 国、フラン ス、ドイ ツ、香港、 イタリア、 日本、韓 国、オラン ダ、シンガ ポール、ス 페인、ス ウェーデ ン、台湾、 イギリス	企業 治験	III	184	○	非	中等度 COVID-19 患者	1600	①レムデシビル5日 投与群 ②レムデシビル10 日投与群	Day 11に7点の順序尺度 によって評価した臨床 状態	2020年3月 15日 ～2020年5 月	https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT04292730	約600例の結果 を5月下旬に公 表予定				

企業	品目名 (一般名)	薬効 分類	効能/ 効果	作用機序	臨床試験												備考			
					実施者	実施国	種類	相	施設数	無作為化	盲検	対象患者	症例数	割付	主要評価項目	試験期間		DB URL	結果	結果URL
					米国立アレルギー感染症研究所 (NIAID) (日本からは国立国際医療研究センター病院)	米国、デンマーク、ドイツ、ギリシャ、日本、韓国、メキシコ、シンガポール、スペイン、イギリス	医師 主導 治験	III	60	○	二重	COVID-19を有する成人入院患者	1063	①レムデシビル ②プラセボ	回復までの時間[時間 枠：1日目から29日目]	2020年3月26日～ 2023年3月31日	https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT04280705?term=remdesivir&rank=3&rank=12	ONEJMに予備試験結果投稿 ○回復までの時間はレムデシビル群11日(95% CI：9～12)、プラセボ群15日(95% CI：13～19)を投与された患者の15日で回復率は1.32(95% CI：1.12から1.55、p<0.001)	https://www.nejm.org/doi/full/10.1056/NEJMoa2007764?query=featured_home	
					米国立アレルギー感染症研究所 (NIAID) (日本からは国立国際医療研究センター病院)	米国、日本、シンガポール	医師 主導 治験	III	48	○	二重	COVID-19を有する成人入院患者	1032	①レムデシビル+バリシチニブ ②プラセボ+バリシチニブ	回復までの時間[時間 枠：1日目から29日目]	2020年5月8日～ 2023年8月1日	https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT04401579?term=remdesivir&rank=2&rank=10			
					Capital Medical University	中国	医師 主導 治験	III	1	○	四重	重度のCOVID-19で入院中の成人患者	237	①レムデシビル ②プラセボ	臨床的改善までの時間(28日目に打ち切り、無作為化から、6項目の通常の臨床状態スケールで2つのカテゴリーが減少するまでの日数)	2020年2月6日～ 2020年4月10日	https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT04257656	死亡、臨床的改善に有意差はなかったが、症例登録数が予定よりも少なかったためパワー不足であった可能性が残る	https://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736(20)31022-9/fulltext	

企業	品目名 (一般名)	薬効 分類	効能/ 効果	作用機序	臨床試験													備考			
					実施者	実施国	種類	相	施設数	無作為化	盲検	対象患者	症例数	割付	主要評価項目	試験期間	DB URL		結果	結果URL	
ア ッ ヴィ	カレトラ (ロピナ ビル・リト ナ ビル)	抗ウ イル ス化 学療 法剤	HIV感 染症	①ロピナビル ○HIVプロテアーゼの活性を阻害し、HIV プロテアーゼによるgag-pol ポリ蛋白質の 開裂を抑制することで、感染性を持つ成熟 したHIVの産生を抑制 ○HIVプロテアーゼに対する選択的親和性 を有し、ヒトのアスパルティックプロテ アーゼに対してはほとんど阻害作用を示さ ない ○in vitro や動物モデルでMERS への有効 性が示されており、COVID-19 に対しても バーチャルスクリーニングで有効である可 能性が示されている ②リトナビル ○CYP3Aによるロピナビルの代謝の競合 的阻害による、ロピナビルの血中濃度の上 昇	群馬大学 医学部附 属病院	日本	特定 臨床 研究	II	5	×	非	新型コロナ ウイルス感 染症と診断 された入院 患者	50	ロピナビル/リトナ ビル+ヒドロキシク ロロキン硫酸塩製 剤	投与開始日（許容は投 与開始日前2日間）の血 清CRP値に対する投与 開始10日目（許容は10 日目の前後の2日間）の血 清CRP値の低下率の期 待値と95%信頼区間	2020年04 月01日～ 2022年04 月30日	https://jrct.niph.go.jp/atest-detail/jRCTs031190227			WHOが国際連 帯治療実施中	
					Wuhan Jinyintan Hospital (Wuhan Infectious Diseases Hospital)	中国	臨床 試験		1	○	非	呼吸中の酸 素飽和度 (Sao 2) が94%以下 である、 SARS-CoV- 2感染が確 認された入 院成人患者	199	①ロピナビル/リト ナビル ②標準治療	28日目までの臨床的 改善までの時間（7点 順序尺度での2ポイント の改善または病院から の退院までのいずれか 早い方)		http://www.chictr.org.cn/showproj.html?proj=48684	臨床的改善 率、28日死亡 率いずれも有 意差が見られ なかったとの 報告	https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/32187464		
帝人 ファ ーマ	オルベスコ (シクレソ ニド)	吸入 ステ ロイ ド喘 息治 療剤	気管支 喘息	○IL-4やIL-5などの各種炎症性サイトカイン 産生抑制、気道内への好酸球浸潤及び TNF α 産生抑制 ○国立感染症研究所よりCOVID-19に対し 特異的な抗ウイルス作用を持つことを報告 (EC ₅₀ 6.3 μ M (in vitro))	国立国際 医療研究 センター 病院	日本	特定 臨床 研究	II	17	×	非	無症候又は 軽症の COVID-19 患者	90	①シクレソニド ②無治療	投与8日目の肺炎発症割 合	2020年3月 27日～ 2021年10 月31日	https://jrct.niph.go.jp/atest-detail/jRCTs031190269				
					藤田医科 大学病院	日本	観察 研究	—	—	—											
					Korea Universi ty Guro Hospital	韓国	臨床 試験	II	1	○	非	軽度の COVID-19 の成人	141	①シクレソニド ②シクレソニド+ヒ ドロキシクロロキ ン ③無治療	研究登録から14日目に おけるSARS-CoV-2根絶 率	2020年4月 1日 ～2020年9 月30日	https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT04330586				

企業	品目名 (一般名)	薬効 分類	効能/ 効果	作用機序	臨床試験													備考		
					実施者	実施国	種類	相	施設数	無作為化	盲検	対象患者	症例数	割付	主要評価項目	試験期間	DB URL		結果	結果URL
日医 工	フサン (ナ ファモス タットメシ ル酸塩)	蛋白 分解 酵素 阻害 剤	肺炎の 急性症 状の改 善等	生体のキニン生成系、線溶系、凝固系及び 補体系に作用し、その酵素活性を阻害し異 常亢進を抑制	東京大学 医学部附 属病院	日本	特定 臨床 研究	III	8	○	単	肺炎を有す るCOVID- 19患者	160	①ファビピラビル+ ナファモスタット ②ファビピラビル	体温、動脈血酸素飽和 度 (SpO2)、胸部画像所 見の軽快及びSARS- CoV-2が陰性化するまで の時間	2020年05 月01日～ 2021年12 月31日	https://jrct.niph.go.jp/atest-detail/jRCTs031200026			○東京大医科学研究所が SARS-CoV-2 の感染の最初の 段階である ウイルス外膜 と、感染細胞 の細胞膜との 融合をカモス タットと比べ て10分の1以 下の低濃度で 阻止した細胞 実験結果を公 表

企業	品目名 (一般名)	薬効 分類	効能/ 効果	作用機序	臨床試験													備考		
					実施者	実施国	種類	相	施設数	無作為化	盲検	対象患者	症例数	割付	主要評価項目	試験期間	DB URL		結果	結果URL
中外製薬	アクテムラ (トシリズマブ〈遺伝子組換え〉)	ヒト化抗ヒトIL-6レセプターモノクローナル抗体	既存治療で効果不十分な関節リウマチ等	可溶性及び膜結合性IL-6レセプターに結合してそれらを介したIL-6の生物活性の発現を抑制	中外製薬	日本	企業治験	III	4	×	非	重症COVID-19肺炎患者	10	トシリズマブ	①安全性：有害事象の発現率及び重症度、臨床検査値の変化 ②有効性：7カテゴリ順序尺度	2020/05/15～2021/03/31	https://www.clinicaltrials.jp/cti-user/trial/ShowDirect.jsp?clinicalTrialId=30447			
					ロシュ	米国、カナダ、デンマーク、フランス、ドイツ、イタリア、オランダ、スペイン、イギリス	企業治験	III	69	○	二重	重症COVID-19肺炎患者	330	①トシリズマブ ②プラセボ	28日目の7カテゴリの順序尺度を使用して評価された臨床状態	2020年4月3日～2020年9月30日	https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT04320615?term=Tozilumab&type=Intr&cond=covid&phase=2&fund=2&draw=2&rank=			
					Shanghai Jiao Tong University	中国	臨床試験		2	×	非	COVID-19の重症患者	21	トシリズマブ	臨床症状の変化、CTスキャン画像、臨床検査値			https://www.pnas.org/content/early/2020/04/27/2005615117	○酸素需要量の減少、肺炎の画像所見の改善がみられたと報告 ○重症度の高い20例（重症度をマッチさせた推定死亡率20%）が全員生存	
ファイザー	ジスロマック（アジスロマイシン水和物）	15員環マクロライド系抗生物質製剤	ブドウ球菌属等による感染症	細菌の70Sリボソームの50Sサブユニットと結合し、蛋白合成を阻害	ノバルティス	米国	企業治験	III	不明	○	四重	COVID-19入院患者	444	①ヒドロキシクロロキン ②ヒドロキシクロロキン+アジスロマイシン ③プラセボ	15日目の臨床改善割合	2020年4月30日～2020年7月21日	https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT04358081?term=Hydroxychloroquine%E3%80%80novartis&draw			

企業	品目名 (一般名)	薬効 分類	効能/ 効果	作用機序	臨床試験													備考		
					実施者	実施国	種類	相	施設数	無作為化	盲検	対象患者	症例数	割付	主要評価項目	試験期間	DB URL		結果	結果URL
サノ フィ	プラケニル (ヒドロキシ クロロキン 硫酸塩製 剤)	免疫 調整 剤	全身性 エリテ マトー デス等	○リソソーム内へのヒドロキシクロロキンの蓄積によるpHの変化とリソソーム内の種々の機能の抑制、それに伴う抗原提示の障害、サイトカイン産生と放出の抑制、トール様受容体を介する免疫反応抑制、アポトーシス誘導、アラキドン酸放出抑制等による炎症抑制 ○ In vitro ではクロロキンはレムデシビルと同等の新型コロナウイルスの抑制効果が示されている (EC ₅₀ = 1.13 μM)	群馬大学 医学部附 属病院	日本	特定 臨床 研究	II	5	×	非	新型コロナ ウイルス感 染症と診断 された入院 患者	50	ロピナビル/リトナ ビル+ヒドロキシク ロロキン硫酸塩製 剤	投与開始日（許容は投 与開始日前2日間）の血 清CRP値に対する投与 開始10日目（許容は10 日目前後の2日間）の血 清CRP値の低下率の期 待値と95%信頼区間	2020年04 月01日～ 2022年04 月30日	https://jrct.niph.go.jp/atest-detail/jRCTs031190227			○世界熱帯医 学会の役員を 中心とした研 究者らが新型 コロナウイル スの暴露後予 防の効果があ るかどうかを 確かめる前向 き臨床試験を 実施すべきと 同学会「One Health」で提 言
					Korea Universi ty Guro Hospital	韓国	臨床 試験	II	1	○	非	軽度の COVID-19 の成人	141	①シクレソニド ②シクレソニド+ヒ ドロキシクロロキ ン ③標準治療	研究登録から14日目に おけるSARS-CoV-2根絶 率	2020年4月 1日 ～2020年9 月30日	https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT04330586			○トランプ米 大統領が推奨 ○ QT間隔の 延長に関する リスクが米国 にて報告され、国内でも 注意喚起され ている
					Asan Medical Center	韓国	臨床 試験	II	1	○	非	軽度の COVID-19 の成人	150	①ロピナビル/リト ナビル ②ロピナビル/リト ナビル+ヒドロキシ クロロキン ③標準治療	ウイルス量[時間枠：入 院日3、5、7、10、14、 18] (Ct値またはmLあたりの ウイルスコピー数の 曲線下面積 (AUC))	2020年3月 11日 ～2020年5 月	https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT04307693			○米国で緊急 使用許可 ○WHOで実施 されていた国 際連帯治験は 安全性の懸念 から一時中断 ○全死亡オッ ズ比およびウ イルスクリア ランスについて系統的レ ビュー（横浜 市立大学）あ り
					Renmin Hospital of Wuhan Universi ty	中国	臨床 試験					新規コロナ ウイルス肺 炎患者	300	①ヒドロキシクロ ロキン0.1mg ②ヒドロキシクロ ロキン0.2mg ③プラセボ	陰性となる時期 T細胞の回復時間	2020年1月 31日～ 2020年2月 29日	http://www.chictr.org.cn/showproject.aspx?project=48880			
					Shangh ai Public Health Clinical Center	中国	臨床 試験	III	1	○	非	新規コロナ ウイルス肺 炎患者	30	①ヒドロキシクロ ロキン ②標準治療	①咽頭スワブ、痰、ま たは下部気道分泌物の ウイルス学的クリアラ ンス率[時間枠：無作為 化後3日、5日、7日] ②2週目の被験者の死亡 率[時間枠：無作為化後 14日]	2020年2月 6日～2020 年2月25日	https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT04261517			

企業	品目名 (一般名)	薬効 分類	効能/ 効果	作用機序	臨床試験													備考		
					実施者	実施国	種類	相	施設数	無作為化	盲検	対象患者	症例数	割付	主要評価項目	試験期間	DB URL		結果	結果URL
					サノフィ	米国、ベルギー、フランス、オランダ	企業治験	I b	4	○	四重	COVID-19の外来成人	210	①ヒドロキシクロロキン ②プラセボ	①鼻咽頭SARS-CoV-2ウイルス量のベースラインから3日目の変化（定量的PCRが利用可能な場合） ②PCR結果のステータス（陽性または陰性）別の参加者数（定量的PCRが利用できない場合）	2020年4月12日～ 2020年8月	https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT04333654			
					FMI-IHUMé diterrané elInfection	フランス	臨床試験			×	非	COVID-19が確認された入院患者	36	①ヒドロキシクロロキン ②ヒドロキシクロロキン+アジスロマイシン ③標準治療	6日目のウイルス学的クリアランス		https://www.clinicaltrialsregister.eu/ctr-search/trial/2020-000890-	ヒドロキシクロロキン投与群において研究参加6日後のウイルス量が有意に低かった	https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC7102549/	
					Assistance Publique – Hô pitaux de Paris	フランス	臨床試験		4			SARS-CoV-2肺炎患者	181	①ヒドロキシクロロキン ②標準治療	死亡、7日以内の集中治療室（ICU）への移送			軽症～中等症の患者において予後に差がなかったとする査読前論文が掲載	https://www.medrxiv.org/content/10.1101/2020.04.10.20060699v1	
					Massachusetts General Hospital	米国	臨床試験	III	43	○	四重	COVID-19で入院中、もしくは救急診療で入院が見込まれる成人	510	①ヒドロキシクロロキン ②プラセボ	15日目のCOVIDアウトカムスケール評価	2020年4月2日～2021年7月	https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT04332991			
					ノバルティス	米国	企業治験	III	不明	○	四重	COVID-19入院患者	444	①ヒドロキシクロロキン ②ヒドロキシクロロキン+アジスロマイシン ③プラセボ	15日目の臨床改善割合	2020年4月30日～2020年7月21日	https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT04358081?term=Hydroxychloroquine%E3%80%80novartis&draw=2&rank=1			

企業	品目名 (一般名)	薬効 分類	効能/ 効果	作用機序	臨床試験													備考		
					実施者	実施国	種類	相	施設数	無作為化	盲検	対象患者	症例数	割付	主要評価項目	試験期間	DB URL		結果	結果URL
サノ フィ	リン酸クロ ロキン (米 国製品名: ARALEN)	抗原 虫治 療薬 (国 内未 承 認)	マラリ アの治 療、予 防・腸 管外ア メーパ の治療 (国内 未承 認)	○Plasmodium種の原虫の酸性小胞に集中し、ヘムの重合を阻害 ○DNAとの相互作用によって特定の酵素を阻害 ○In vitroではレムデンビルと同等の新型コロナウイルスの抑制効果が示されている (EC ₅₀ = 1.13 μM)	横浜市立 大学	日本・北米	シス テマ ティ ック レ ビュ	不 明	不 明				COVID-19 と診断され た患者	不明	クロロキン or ヒ ドロキシンクロロキ ン	全死亡のオッズ比。7日 目のウィルスクリアラ ンス	2020年4月 17日～ 2021年3月 31日	https://upload.umin.ac.jp/cgi-bin/ctr/ctr.cgi?function=brows&action=brows&recptno=R000045825&type=summary&language=J		○国内では、 網膜症の副作用による薬害 事件で、1974 年に製造販売 中止 ○米国で緊急 使用許可 ○ノバルティ スが臨床試験 を実施予定
ノバ ル ティ ス	イラリス (カナキヌ マブ〈遺伝 子組換 え〉)	ヒト 型抗 ヒト IL-1 βモ ノク ロー ナル 抗体	クリオ ピリン 関連周 期性症 候群等	ヒトIL-1βに結合し、IL-1βが受容体に結合することを阻害することにより、その活性を中和	ノバル ティス	米国、ス ペ イン、英国	企業 治験	III	6	○	二重	COVID-19 誘発性肺炎 およびサイ トカイン放 出症候群 (CRS) 患 者	450	①カナキヌマブ+標 準治療 ②プラセボ +標準治療	臨床改善のある患者数 (3日目から29日目)	2020年4月 30日 ～2020年 10月16日	https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT04362813?term=CANAKINUMAB&cond=COVID&draw=2&rank=1			

企業	品目名 (一般名)	薬効 分類	効能/ 効果	作用機序	臨床試験													備考	
					実施者	実施国	種類	相	施設数	無作為化	盲検	対象患者	症例数	割付	主要評価項目	試験期間	DB URL		結果
ノバルティス	グリベック (イマチニブ)	抗悪性腫瘍剤	慢性骨髄性白血病等	○Bcr-Abl、v-Abl、c-Ablチロシンキナーゼ活性阻害 ○血小板由来成長因子（PDGF）受容体及びSCF受容体であるKITのチロシンキナーゼ活性を阻害し、PDGFやSCFが介する細胞内シグナル伝達を阻害	Hospital Universitario de Fuenlabrada	スペイン	臨床試験	II	1	○	非	SARS Cov2 肺炎患者	165	①ヒドロキシクロロキン+ロピナビル/リトナビル ②ヒドロキシクロロキン+イマチニブ ③ヒドロキシクロロキン+パリスチニブ	14日目の臨床改善までの時間	2020年4月13日 ～2020年9月	https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT04346147?term=imatinib&cond=covid&draw=2&rank=1		
					Versailles Hospital	フランス	臨床試験	II	2	○	非	高齢Covid-19入院患者	99	イマチニブ	30日目の死亡率	2020年5月1日 ～2020年12月1日	https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT04357613?term=imatinib&cond=covid&draw=2&rank=2		
					University Hospital, Bordeaux	フランス	臨床試験	III	1	○		COVID-19の65歳以上の外来患者	1057	①ビタミン製剤 ②ヒドロキシクロロキン ③ファビピラビル ④テルミサルタン	①14日目の入院が発生した参加者の割合 ②14日目の死亡が発生した参加者の割合	2020年4月15日 ～2020年8月15日	https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT04356495?term=imatinib&cond=covid&draw=2&rank=3		
イーライリリー	オルミエン ト（パリスチニブ）	ヤヌスキナーゼ（JAK）阻害剤	既存治療で効果不十分な関節リウマチ	○造血、炎症、免疫機能に関与する各種サイトカインや成長因子が受容体に結合する際の細胞内シグナル伝達に介在するJAK1及びJAK2活性を阻害し、細胞内シグナル伝達経路の中でJAK自体のリン酸化とともに対応するシグナル伝達兼転写活性化因子（STAT）のリン酸化及び活性化（核内に移行し、サイトカインに反応する遺伝子群の転写を亢進）を抑制することによりシグナル伝達を阻害 ○肺細胞へのウイルス侵入促進酵素AAK1の阻害（仮説）	米国立アレルギー感染症研究所（NIAID）（日本からは国立国際医療研究センター病院）	米国、日本、シンガポール	医師主導試験	III	48	○	二重	COVID-19を有する成人入院患者	1032	①レムデシビル+パリスチニブ ②プラセボ+パリスチニブ	回復までの時間[時間 枠：1日目から29日目]	2020年5月8日 ～2023年8月1日	https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT04401579?term=remdesivir&draw=2&rank=10		

企業	品目名 (一般名)	薬効 分類	効能/ 効果	作用機序	臨床試験														備考	
					実施者	実施国	種類	相	施設数	無作為化	盲検	対象患者	症例数	割付	主要評価項目	試験期間	DB URL	結果		結果URL
ファイザー	ゼルヤンツ (トファシチニブ)	ヤヌスキナーゼ (JAK) 阻害剤	既存治療で効果不十分な関節リウマチ等	○JAK1及びJAK3の阻害により、IL-2、IL-4、IL-7、IL-9、IL-15及びIL-21を含む数種類の共通のγ鎖を有するサイトカイン受容体を介したシグナル伝達が遮断され、これらのサイトカインは、リンパ球の活性化、増殖及び機能発現等の免疫反応を抑制 ○JAK1に対する阻害作用により、IL-6やI型IFNなど他の炎症誘発性サイトカインを介したシグナル伝達を抑制 ○高用量では、JAK2ホモ二量体シグナル伝達の抑制を介したエリスロポエチンのシグナル伝達の抑制が生じる可能性	Università Politecnica delle Marche	イタリア	前向きコホート研究	II	1	×	非	SARS-CoV2症候性間質性肺炎のために入院したが、人工呼吸器を必要としない患者	50	トファシチニブ	14日目にPaO2 / FIO2>150を維持するために、またはPaO2データが利用できない場合は、FiO2 0.5でSO2> 94%を維持するために機械的換気が必要とする患者の割合	2020年4月10日 ~2020年7月10日	https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT04332042?term=Tofacitinib&cond=covid&draw=2&rank=1			
ノバルティス	ジャカビ (ルキシリチニブリン酸塩)	抗癌性腫瘍剤 ヤヌスキナーゼ (JAK) 阻害剤	骨髄線維症等	○骨髄線維症及び真性多血症の患者では多くの場合恒常的な活性化が認められているJAK2遺伝子の変異等によるJAK2キナーゼの野生型及び変異型 (V617F) の活性を阻害し、そのシグナル伝達を抑制 ○骨髄線維症における臨床症状の原因の一つと考えられているIL-6の細胞内シグナル伝達に関わるJAK1の活性を阻害	ノバルティス	英国	企業治験	III	不明	○	二重	COVID-19に関連したサイトカインストームのある12歳以上の患者	402	①ルキシリチニブ ②プラセボ	29日目における死亡、呼吸不全（機械的換気が必要または集中治療室（ICU）のケアが必要）を発症した患者の割合	2020年5月1日 ~2020年7月13日	https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT04362137?term=Ruxolitinib&cond=covid&draw=4&rank=4			○非臨床試験及び海外医師主導の試験で、同剤が集中治療や人工呼吸器を必要とする患者数を低減させる可能性を示唆
サノフィ	ケプザラ (サリルマブ〈遺伝子組換え〉)	ヒト型抗ヒトIL-6受容体モノクローナル抗体	既存治療で効果不十分な関節リウマチ	可溶性及び膜結合型IL-6受容体αサブユニット (IL-6Rα) に特異的に結合し、関節リウマチ患者の滑液に高値でみられ、関節リウマチ患者の全身性炎症、滑膜炎及び骨びらんにつながるT細胞、B細胞、単核細胞及び破骨細胞の遊走や活性化などの多様な生理的プロセスに関与しているIL-6を介するシグナル伝達を阻害	サノフィ	カナダ、フランス、ドイツ、イスラエル、イタリア、日本、ロシア、スペイン	企業治験	III	34	○	四重	COVID-19を有する入院患者	400	①サリルマブ ②プラセボ	7点の序数スケールを使用した、ベースラインからの臨床状態評価における2点の改善までの時間[タイムフレーム：ベースラインから29日目]	2020年3月28日 ~2020年8月	https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT04327388			

企業	品目名 (一般名)	薬効 分類	効能/ 効果	作用機序	臨床試験													備考			
					実施者	実施国	種類	相	施設数	無作為化	盲検	対象患者	症例数	割付	主要評価項目	試験期間	DB URL		結果	結果URL	
複数	グルココルチコイド (コルチゾン、ヒドロコルチゾン)	副腎皮質ホルモン製剤	内分泌疾患等	抗炎症作用、抗アレルギー作用を有し、また、糖・蛋白・脂質等の代謝、生体の免疫反応等に影響を及ぼす	神奈川県立循環器呼吸器病センター	日本	後方視的研究		12	×	(傾向スコアによる調整)	非	COVID-19患者	500	①グルココルチコイド投与群 ②グルココルチコイド非投与群	Day15における、7点順序尺度で評価した被験者の臨床状態の改善のオッズ比	2020年5月1日～ 2020年6月30日	https://upload.umin.ac.jp/cgi-bin/ctr/ctr.cgi?function=brows&action=brows&recptno=R000045861&type=summary&language=J			
アレクシオン	ユルトミリス (ラブリズマブ〈遺伝子組換え〉)	抗補体 (C5) モノクローナル抗体製剤	発作性夜間ヘモグロビン尿症	○補体タンパクC5に特異的に結合し、C5のC5a及びC5bへの開裂を阻害することで、終末補体複合体 (C5b-9) の生成を抑制 ○その結果、発作性夜間ヘモグロビン尿症患者における終末補体介在性血管内溶血を抑制	アレクシオン	国際共同	企業治験	III	不明	○	非	COVID-19の重症肺炎、急性肺損傷、または急性呼吸窮迫症候群の成人患者	270	①ラブリズマブ ②標準治療	29日目の生存率	2020年5月～2021年2月	https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT04369469?term=Ravulizumab&cond=covid&draw=2&rank=1				

企業	品目名 (一般名)	薬効 分類	効能/ 効果	作用機序	臨床試験													備考		
					実施者	実施国	種類	相	施設数	無作為化	盲検	対象患者	症例数	割付	主要評価項目	試験期間	DB URL		結果	結果URL
アストラゼネカ	Calquence (米国製品名) (Acalabrutinib)	選択的ブルトン型チロシンキナーゼ (BTK) 阻害薬 (国内未承認)	少なくとも一つの治療歴を持つ成人慢性リンパ性白血病 (国内未承認)	Acalabrutinibと活性代謝物のACP-5862はB細胞の増殖、輸送、走化性、接着の活性化に必要なB細胞抗原受容体とサイトカイン受容体を介する経路におけるシグナル伝達分子であるBTKの活性部位のシステイン残基と共有結合し、BTKを阻害	アストラゼネカ	米国	企業治験	II	7	○	非	COVID-19で入院した患者	60	①Acalabrutinib ②標準治療	①28日目の有害事象および重篤な有害事象の発生 ②14日目に生存し、呼吸不全のない患者	2020年5月12日 ～2020年9月30日	https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT04380688?term=Acalabrutinib&cond=covid&draw=2&rank=1			
					アストラゼネカ	フランス、イタリア、スペイン	企業治験	II	11	○	非	COVID-19で入院した患者	140	①Acalabrutinib ②標準治療	14日目に生存し、呼吸不全のない患者	2020年5月11日 ～2020年11月30日	https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT04346199?term=Acalabrutinib&cond=COVID&draw=2&rank=1			○米国など数ヶ国で成人慢性リンパ性白血病として承認 ○BTK阻害による炎症抑制が新型コロナでの呼吸窮迫症状を軽減することが初期臨床のデータで示唆
イーライリリー	LY3127804 (開発コード)	未承認	未承認	抗アンジオポエチン2 (Ang2) 抗体	イーライリリー	米国	企業治験	II	1	○	二重	肺炎で入院し、COVID-19と推定または確認された患者	200	①LY3127804 ②プラセボ	28日目までに換気装置補助のない日数	2020年4月20日 ～2020年7月16日	https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT04342897?term=LY3127804&draw=2&rank=1			
エーザイ	セルベックス (テプレノン)	胃炎・胃潰瘍治療剤	急性胃炎等の胃粘膜病変の改善	抗潰瘍・胃粘液増加・熱ショック蛋白 (HSP) 誘導による細胞保護・胃粘膜プロスタグランジン増加・胃粘膜血流増加並びに改善・胃粘膜保護胃粘膜増殖帯細胞の恒常性維持・脂質過酸化抑制作用	岡山大学病院	日本	特定臨床研究	II	4	○	非	COVID-19肺炎患者	100	①テプレノン+標準治療 ②標準治療	気管内挿管率	2020年5月20日 ～2024年12月31日	https://jrct.niph.go.jp/atest-detail/jRCTs061200002			

企業	品目名 (一般名)	薬効 分類	効能/ 効果	作用機序	臨床試験													備考			
					実施者	実施国	種類	相	施設数	無作為化	盲検	対象患者	症例数	割付	主要評価項目	試験期間	DB URL		結果	結果URL	
日本 たば こ産 業	ピラセプト (ネルフィ ナビルメシ ル酸塩) (国内販売 停止)	抗ウ イル ス化 学療 法剤	HIV感 染症	<p>○HIV-1由来のプロテアーゼの活性を選択的に阻害</p> <p>○ヒト由来のアスパラギン酸プロテアーゼ(レニン、ペプシン、ガストリン、カテプシン等)に対する阻害活性はほとんどなく、HIVプロテアーゼに対して高い酵素特異性</p> <p>○プロテアーゼ活性中心において、HIV前駆体ポリタンパク質と競合してプロテアーゼ活性を阻害し、その結果、ウイルス粒子の成熟過程において、HIV前駆体ポリタンパク質の切断が妨げられ、感染性を持つHIVの産生を抑制</p> <p>○新型コロナウイルスの複製に必要なメインプロテアーゼに結合(仮説)</p> <p>○in vitroでEC₅₀=1.13 μM</p>	長崎大学	日本	医師 主導 治験				○	非		120	①ネルフィナビル ②対症療法	ウイルス陰性化までの 日数	未定				○東京理科大学と国立感染症研究所などの研究グループは、ネルフィナビルとセファランチンの併用投与により、COVID-19感染細胞から検出限界以下までウイルスを排除できたとの研究結果を公表

企業	品目名（一般名）	薬効分類	効能/効果	作用機序	開発段階
ノバルティス	コセンティクス（セクヌマブ〈遺伝子組換え〉）	ヒト型抗ヒトIL-17Aモノクローナル抗体製剤	既存治療で効果不十分な尋常性乾癬等	炎症性サイトカインであるIL-17Aと結合し、IL-17AのIL-17受容体への結合を阻害することにより、その活性を中和	医師主導治験検討中
ノバルティス	ディオバン（バルサルタン）	選択的AT1受容体ブロッカー	高血圧症	アンジオテンシンⅡ受容体のサブタイプであるAT1受容体に選択的に結合し、昇圧系として作用するアンジオテンシンⅡに対して競合的に拮抗	医師主導治験検討中
小野薬品	フオイパン（カモスタットメシル酸塩）	経口蛋白分解酵素阻害剤	慢性膵炎における急性症状の緩解等	生体のキニン生成系、線溶系、凝固系及び補体系に作用し、その酵素活性を阻害し異常亢進を抑制	小野薬品が企業治験検討中
メディサ新薬	セファランチン（セファランチン）	その他の個々の器官系用医薬品	放射線による白血球減少症等	<ul style="list-style-type: none"> ○コラーゲン、ADP、まむし毒などの種々の要因により生じる膜のホスホリパーゼA2の活性化並びにアラキドン酸の遊離を抑え、血小板凝集、K⁺の遊出を抑制することによる、生体膜の安定化作用 ○マムシ毒による致死作用を用量依存的に抑制 ○放射線による造血機能障害に対し、血液幹細胞に働き、造血機能の回復を促進 ○抗原抗体反応による肥満細胞からのヒスタミンの遊離を抑制 ○下垂体を介し、血中のACTHを上昇させることにより、副腎および血中のコルチコステロンの産生を高める ○末梢循環独自の周期的血管運動を損なうことなく、末梢血管の拡張並びに血流を促進し、末梢循環障害を改善 ○新型コロナウイルスと細胞の吸着に必須のウイルススパイク蛋白質に結合（仮説） 	<p>○東京理科大学と国立感染症研究所などの研究グループは、ネルフィナビルとセファランチンの併用投与により、新型コロナウイルスに感染した細胞から検出限界以下までウイルスを排除できたとの研究結果を公表（感染研が分離、提供した新型コロナウイルスを使い、感染細胞から放出されるウイルスのRNAを1日で最大0.01%以下まで減少させたことから、「治療薬候補と位置づけられているファビピラビル、ロピナビル、クロロキンよりも強い活性を持っている」とし、1日で感染細胞からのウイルス排除を検出限界以下までできたことを確認・実際に臨床で使用される投与量で確認したところ、累積ウイルス量が約7%となり、ウイルス排除までの期間が約5.5日短縮・ネルフィナビルは、ウイルスの複製に必要なメインプロテアーゼ、セファランチンはウイルスと細胞の吸着に必須のウイルススパイク蛋白質に結合することで、これらの作用を示した可能性があると説明）</p>

COVID-19治療薬候補2

企業	品目名（一般名）	薬効分類	効能/効果	作用機序	開発段階
武田薬品 工業・ CSLベ リング	TAK-888(開発コー ド)	未承認	未承認	COVID-19から完全に回復した患者由来の血漿に含まれる抗SARS-CoV-2ポリクローナル高免疫グロブリンによる抗ウイルス作用	○国立アレルギー・感染症研究所（NIAID）と協力し、成人のCOVID-19患者における高度免疫グロブリン療法の安全性、忍容性および有効性を確認するグローバル試験を日米欧で早ければ7月にも開始予定 ○年内にも米国に申請を行い、日本も続けて申請に持って行く予定
塩野義	未定	未承認	未承認		○北海道大人獣共通感染症リサーチセンターとの共同研究で、新型コロナウイルス株を使用した創薬研究を開始 ○自社の抗ウイルス化合物ライブラリーを用いたin vitro試験で、新型コロナウイルス株に対する有望な化合物群を確認 ○本研究を最優先プロジェクトの一つに位置付け、20年度中の臨床試験開始の方針
アストラ ゼネカ	未定	未承認	未承認		グローバルで、COVID-19治療の開発に向けて、モノクローナル抗体を特定し、臨床試験で検証する活動を加速
イーライ リリー/ カナダ AbCellera 社	未定	未承認	未承認		○AbCellera社が実施した米国でCOVID-19から最初に快復した患者の1人の血液サンプルの500万を超える免疫細胞のスクリーニングを実施し、その結果、500以上の独自の完全ヒト抗体配列を活用した抗体治療薬の開発を開始 ○今後は米国立アレルギー研究所のワクチン開発センターと共同して、これら抗体の多くを発現させてウイルスを中和する能力について検討予定
MSD	未定	未承認	未承認		COVID-19に対する効果を示す可能性のある抗ウイルス薬の候補薬について評価を実施中
グラクソ スミスク ライン・ 米ヴィ ル・バイ オテクノ ロジー社	VIR-7831/VIR-7832 (開発コード)	未承認	未承認		ヴィル社のプラットフォームにより同定された特異的抗体候補VIR-7831とVIR-7832の開発に注力し、今後3～5カ月以内に第Ⅱ相企業治験開始予定

企業	品目名（一般名）	薬効分類	効能/効果	作用機序	開発段階
米アルナイラム・米ヴィル・バイオテクノロジー	VIR-2703 (開発コード)	未承認	未承認	○新型コロナウイルスのゲノムを標的としたRNAi治療薬	○治療薬もしくは予防薬として吸入製剤の開発を始める ○近く米FDA（食品医薬品局）や他の規制当局と面談し、2020年末をめどに治験を開始する見込み。
ファイザー	未定	未承認	未承認	SARS-CoV-2の3C-like（3CL）プロテアーゼ阻害	○抗ウイルス薬の候補化合物スクリーニングを行い、SARS-CoV-2の3C-like（3CL）プロテアーゼを標的とする阻害化合物のリード候補と類縁体を同定 ○解析データに基づき前臨床の確証実験を行い、作用特性や静注経路での投与適用性など、必要な検証作業中 ○臨床試験の開始を2020年第3四半期に開始できるように準備を加速
MSD	ストロメクトール (イベルメクチン)	駆虫剤	腸管糞線虫症等	○無脊椎動物の神経・筋細胞に存在するグルタミン酸作動性Cl ⁻ チャンネルに選択的かつ高い親和性を持って結合 ○これにより、Cl ⁻ に対する細胞膜の透過性が上昇して神経又は筋細胞の過分極が生じ、その結果、寄生虫が麻痺を起し、死に至る ○特に、神経伝達物質であるγ-アミノ酪酸(GABA)によって活性化される他のリガンド作動性Cl ⁻ チャンネルとも弱いながらも相互作用するものと思われる ○ヒトでの安全域は、哺乳類ではグルタミン酸作動性Cl ⁻ チャンネルの存在が報告されていないこと、哺乳類の脳の特異的な結合部位に対するイベルメクチンの親和性が線虫に比べ約100倍低いこと、またラット等の哺乳類ではが血液-脳関門を容易には通過することができないという事実から確保されているものと考えられる	○西村経済再生担当相が会見で、「海外のデータで、投与した（新型コロナ）患者と、投与しない患者で、死亡率が約6分の1になったというデータが報告されている」とし、同剤の活用に向けて後押しすると発言 ○安倍首相、加藤厚労相が日本で「治験を開始していく予定」と説明し、北里大を中心に医師主導治験が実施される予定
中外製薬	未定	未承認	未承認		シンガポール科学技術研究庁（A*STAR）とCOVID-19に対する抗体医薬品の共同研究を開始

COVID-19治療薬候補2

企業	品目名（一般名）	薬効分類	効能/効果	作用機序	開発段階
エーザイ	エリトラン（開発コード=E5564）	未承認	未承認	○サイトカインストームの原因になる多種サイトカイン産生シグナリングの最上流に位置するTLR4の活性化を阻害 ○IL-6やTNF α 、IL-1 β など複数のサイトカイン産生を単剤で一度に抑え、肺炎の重症化を防ぐというのがコンセプト	「REMAP-CAP-COVID」という国際ネットワーク主導の枠組みで、6月にも国際共同治験を開始予定で年末に結果が出る（予定症例数は400例）
日本新薬	未定	未承認	未承認		○核酸医薬の創製技術を生かした新型コロナウイルス治療薬の開発に着手する方針 ○年度内にも治療薬の候補を見いだしたい考え ○同社は肺動脈性肺高血圧症治療剤「ウプトラビ」と、米国で骨髄線維症を適応に開発を進めている選択的JAK2阻害剤NS-018（ilginatinib）の2品目についても、新型コロナの重症患者に効果があるかどうかを調べる
グラクソ・スミスクライン	オチリマブ（開発番号=GSK3196165）	GM-CSFモノクローナル抗体	関節リウマチ治療薬として国内・海外ともに臨床第3相段階	顆粒球マクロファージコロニー刺激因子（GM-CSF）に特異的に結合	○重症患者に見られるサイトカインストームを抑え込む目的でCOVID-19治療に使えるか検討中 ○治験には日本人症例も含めたい意向で、現在は医薬品医療機器総合機構と相談中
メルク	EIDD-2801（開発コード）				○メリッジバック・バイオとの提携を通じて進めている第1相を実施中 ○COVID-19に対する経口抗ウイルス薬 ○前臨床でも優れた忍容性を確認